

5
2016

ちばさぽ通信



3年目の一区切り

当センターの第1期指定管理の最終年度になりました。一つの区切りではあるので、この年度を「まとめの年」と位置づけたいと思います。

今年は、団体活動を柔軟なアタマで進めるために、新鮮な切り口の講座を企画中です。2020年のオリンピック・パラリンピックを視野に入れた活動を、すでに始めている団体もあります。オリ・パラは、ボランティアや市民団体を一歩前に進める、大きな機会となるでしょう。シニアの活躍も期待されます。国際・もてなし・安心・歴史・多様性といったキーワードの中で、市民団体活動がどのように花開いていくか、いまから楽しみです。

こんなことやります!こんなセンターにします! ～センタースタッフの思い～

2016年度も約1ヶ月が経過し、いくつかの事業は既に動き始めていますが、これから企画の詳細を詰めていくものもあります。また、事業に限らず日常業務においても、センターの価値を高めるために、これまでとは変えるところは変えていく必要もあるでしょう。

そこで今号では、新年度、センターのスタッフがどういった思いをもって事業や業務に臨もうとしているか、その声を記事にしました。まだ“個人の思い”のレベルですが、1年間でどれだけ実現できるか、どうぞご注目ください!

◇この事業を頑張りたい・こうしたい

- ちばさぽに関わって2年目、団体交流会の「つながる」をテーマに頑張ります。
- フェスタを変えたい。団体のブースに収まっているのではなく、会場の中にもっと出てきてもらえるような、そんな企画をつくりたいです。
- フェスタで、参加者がみんな参加できるワークショップか、一体感が感じられるパフォーマンスをやりたいな。



◇こんな場にしたい・機能をもたせたい

- 団体さんの「困った問題」をみんなで考えられる場があるといいなあ～。
- 行政と市民がもっと仲良く、ひらたく話せて、「協働」がスムーズにすすむにはどうしたらいいか、みんな考えて!?
- 市民団体やボランティアと、企業・学校・媒体・行政などを結ぶセンターになりたい。
- 千葉市の市民活動のチカラをもっと結集させたい!



◇日常業務や運営について

- 館内表示・掲示のわかりやすい配置に力を入れたい。
- 市のいろいろな部署や区役所と互いに情報共有を図り、発信していきたい。
- 夜9時まで開館してるので、夜間利用者がもっと増えるセンターにしたい。



◇こんな職員になりたい

- 団体の方に少しでも、頼っていただけるようなスタッフになりたいです。
- センターに来るとホッとすると、そんな場所づくりを心がけます。
- もっと気軽にいろんなことを相談してもらえるようになりたい。

